

(1) 実施対象等

- 移動状況やニーズを把握するため、市民等、事業所、在勤・在学・来訪者、公共交通利用者を対象とする。
- 市民アンケートは、18歳以上90歳未満の1,800名を無作為抽出する。
- 事業所アンケートは、従業員によるアンケート協力も想定し、従業員数の多い市内1,000事業所を対象とする。

抽出数は、地区別分析を想定し、各地区一律(150票)分と、残りを各地区の人口比率で配分する分を組み合わせ。

分類	対象	方法	
		発送	回収
市民等	無作為抽出した1,800名	郵送	郵送・WEB
	公式LINE登録者	LINE配信 (QRコード活用)	WEB
事業所	市内所在1,000事業所	郵送	郵送・WEB
在勤者	上記事業所の従業者		WEB
在学者	市内の3つの大学に通う学生	ポスター掲示、 メール配信等 (QRコード活用)	WEB
来訪者	観光施設等への来訪者		WEB
公共交通	鉄道、バス利用者		WEB

< 調査対象と方法 >

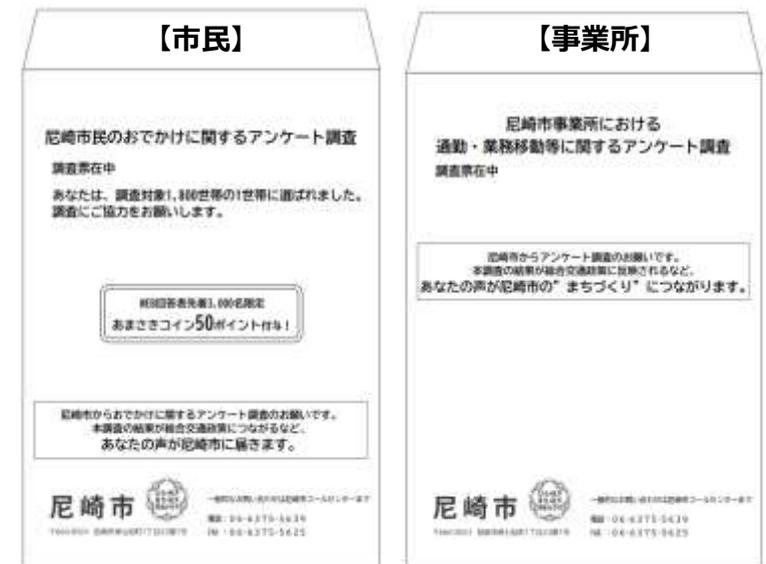
(2) 実施時期

市民アンケート及び事業所アンケートは6月中旬より順次郵送し、7月上旬を回答期限とする(回答期間20日程度)。

(3) 回収率向上のための工夫

- ① 地域の代表者(自治会長70名程度)にも調査協力を依頼
- ② 調査票を郵送する封筒宛名面の表現を工夫
- ③ 宛名市民の、同居家族にもWEB回答を依頼
- ④ WEB回答者のうち、先着3000人にあま咲きコインを付与

市民・在勤・公共交通利用等重複しての回答は可能とするが、ポイント付与は1人2回まで



< アンケート配布時の封筒宛名面のイメージ(角2) >

a) 市民等アンケート

市民以外の回答も
多く含まれる見込み

概要		設問事項		市民以外の回答も 多く含まれる見込み			目的等	
				A 市民等	B 在勤・在学・ 来訪者	C 公共交通 利用者		
属性	■ 回答者自身の状況	Q1-1	居住地の郵便番号	○	○	—	基本情報として把握する	
		Q1-2	現在の就業状況	○	○	—		
		Q1-3	家族構成	○	○	—		
		Q1-4	年代	○	○	○		
		Q1-5	健康面における外出状況	○	○	○	交通を取り巻く社会情勢のデータの補完とする	
		Q1-6	自動車（原付・バイク含む）の運転免許の有無	○	○	○		
日頃の活動	■ 家庭の状況	Q2-1	車両の保有有無 【有】利用頻度	○	—	—	交通を取り巻く社会情勢のデータの補完とする	
		Q2-2	家族等の送迎有無 【有】送迎対象者・目的・頻度	○	—	—		
	■ 移動・活動の現状	Q2-3	最もよく使う鉄道の路線と駅と自宅から鉄道駅までの徒歩での所要時間・利用頻度・手段	○	○	○	国勢調査、パーソントリップ調査による移動データの補完とする (外出目的や目的地等のODデータ)	
		Q2-4						最もよく使うバス停留所と自宅からバス停留所までの徒歩での所要時間・利用頻度・手段
		Q2-5	尼崎市市内におけるタクシーの利用状況	○	○	—		
		Q2-6	利用する交通手段	○	—	—		
		Q2-7						●「通勤・通学」の場合
		Q2-8						●「日常の買物」の場合
	Q2-9	●「通院」の場合						
	Q2-10	●「レジャー・趣味」の場合						
■ 移動手段の重要度とストレス	Q2-10	徒歩・車いす / 自転車 / 自動車 / 鉄道路線バス / タクシー別のストレス度・重要度	○	○	○	日常的な移動における課題、ニーズを探る		

概要	設問事項					目的等	
			A 市民等	B 在勤・在 学・来訪者	C 公共交通 利用者		
将来への 考え	■ シェアリング等のサービスの利用意向	Q3	シェアサイクルを利用したことがあるか	○	○	○	増加が見込まれるシェアリングサービスのニーズを探る
	■ 現状と代替手段への期待	Q4-1	自動車と日常生活との結びつきの強さ	○	○	○	自動車中心からの転換可能性を探る
		Q4-2	自動車以外の代替交通手段・サービスの充実	○	○	○	
	■ これからの交通への期待	Q5	交通の将来像として求められる機能	○	-	-	交通の将来像として求められる機能を探る
■ これからの交通に求められる機能	Q6	自らで取り組んでみようと思うこと【自由記述】	○	-	-		

b) 事業所アンケート

概要		設問事項	目的等
属性	■ 事業所自体の状況	Q1-1 事業所の所在地（郵便番号・住所）、 会社名、担当部署、担当者名、連絡先（TEL・メール）	基本情報として把握する
		Q1-2 業種	
		Q1-3 最寄りの鉄道の路線と駅と自宅から鉄道駅までの徒歩での所要時間・利用頻度・手段	
		Q1-4 最寄りのバス停留所と自宅からバス停留所までの徒歩での所要時間・利用頻度・手段	
		Q1-5 勤務時間	
	■ 従業員の状況	Q1-6 従業員規模	
		Q1-7 従業員の居住地割合（記入：○割）	
		Q1-8 時差出勤（フレックス制）またはテレワークの実施割合（記入：○割）	
		Q1-9 交通費支給の有無	
		Q1-10 送迎バス・自家用車通勤の割合（記入：○割）	
業務と交通の関係	■ 自社送迎、自家用車通勤の実施状況等	Q2-1 自社送迎の有無 【有】有償・無償、運行時間、出発地、運行理由、自社送迎における考え方	取組の状況に加えて、公共交通機関利用への転換可能性等を探る
		Q2-2 自家用車通勤許可の有無 【有】自動車通勤の要件、自動車通勤を減らす取組実施状況	
		Q2-3 既存の鉄道やバスへの転換意向	
		Q3 通勤・業務移動時の交通に対するご意見【自由記述】	